

令和5年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立立間小学校

1 自己評価書

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価		
教育目標	生き生き活動する立間っ子の育成						
基本方針	1 個に応じたきめ細かな指導を通して、確かな学力の定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を進める。 2 人権尊重の精神を培い、思いやりと活気に満ちた安全・安心な教育環境を整える。 3 進取・創造の精神に象徴される「立間の心」を継承し、様々なことに挑戦するたくましい実践力の育成に努める。 4 家庭や地域と連携・協働し、地域とともにある学校づくりに努める。						
本年度重点目標	1 個に応じた指導と確かな学力の定着と向上を図る。 2 安全・安心な教育環境を整備する。 3 体験を通して、たくましい実践力を育成する。 4 地域と協働する学校づくりに努める。						
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	C	C	
				・具体的な対策の実施	C		
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。		・教師アンケート	B	B
					・保護者アンケート	C	
					・児童生徒アンケート	A	
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。		・教師アンケート	C	B
					・児童生徒アンケート	B	
					・児童生徒アンケート	B	
	一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。		・教師アンケート	C	C		
			・保護者アンケート	C			
			・児童生徒アンケート	B			
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)		・教師アンケート	C	C
					・保護者アンケート	C	
					・児童生徒アンケート	B	
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。		・教師アンケート	C	C
					・保護者アンケート	C	
					・児童生徒アンケート	C	
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。		・教師アンケート	B	B
					・保護者アンケート	C	
					・児童生徒アンケート	B	
(成果○と課題●) ○ 基礎的基本的な反復学習や補充学習におけるタブレットの活用 ○ 地域の方との交流学习や地域に出向く活動等の実践 ● 基礎基本の定着や読解力・想像力(個人差が大きい) ● 個別指導の時間の確保や個人差に応じた宿題の出し方等 ● 本を読む、読まないの個人差 ● 読書活動と学力向上の関連化の深化							
(改善策等☆) ☆ 課題への向き合わせ方の工夫(印をつけながら読む。具体的場面をイメージさせる。体験させる。等) ☆ 読解力問題への取組(正確に早く読み取る力を身に付けさせるため。) ☆ 自主学習フェスティバルの実施 (自主的に工夫しながら学習する力を高める。互いの自学ノートの取組を見て、自分の取組を振り返らせる。等) ☆ 学級指導の充実と、家庭への積極的な啓発(家庭学習がんばり週間を効果的なものにする。) ☆ 補充学習、やるっ子タイム等の取組の継続(読解力を高める課題、EILSやeライブラリ等の活用) ☆ これまで行ってきた読書活動の地道な継続と、学校での読書機会の増加 (やるっ子タイムの活用。おすすめの本紹介。読書後の感想文。多読賞。放送での呼び掛け。みきゃん通帳の確認。等)							

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価		
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	C	B		
			・保護者アンケート	C			
			・児童生徒アンケート	A			
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	C	B	
				・保護者アンケート	B		
				・児童生徒アンケート	A		
		③ 基本的な生活習慣の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	C	B
					・児童生徒アンケート	A	
					・保護者アンケート	C	
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。	自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	C	B	
				・児童アンケート	B		
					・教師アンケート		C
					・児童アンケート		A
	<p>(成果○と課題●)</p> <p>○ 機会を逃さない、児童への声掛け(児童の成長を認める声掛けをすることで達成感を感じさせる。次への意欲につなげる。等)</p> <p>○ 情報交換や、児童へ関わる機会の増加 ○ アンケートの回数を増加(児童の現状把握)</p> <p>● 職員間での共通理解不足や組織的対応のまずさ(職員の意識の差)</p> <p>● 挨拶、返事、受け答え、いじめの芽を断つ、等の指導の一層の充実</p> <p>● 児童のリーダーシップ育成と、児童が自信を持って取り組めるような雰囲気づくり</p> <p>● 自分の意見をはっきりと言える児童の育成</p> <p>(改善策等☆)</p> <p>☆ 粘り強く、児童に真摯に向き合う指導の継続と、受容的であたたかな関わり</p> <p>☆ 自己有用感を高めることをねらいとした学級活動や道徳、集会等の積極的な実施</p> <p>☆ 人間関係づくりに関するワークショップや道徳等の充実</p> <p>☆ ICTを活用した相談箱的な取組や個別相談の実施</p> <p>☆ 共通理解を基にした児童への指導充実(情報交換の場や必要に応じたケース会議の設定)</p> <p>☆ 職朝の実施回数の増加</p> <p>☆ 児童や保護者が相談しやすい雰囲気づくりや、児童・保護者との対話や情報発信の充実</p> <p>☆ 統合に向けた、生徒指導面に関するルール作りの検討</p>						

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価	
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがい重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、教職員の意識改革に努めた。	・教師アンケート	C	C	
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B		
	② 働きやすい環境づくり	新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとらわれることなく取り組んだ。	休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	C	C
				・教師アンケート	C	C
	③ 他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	C	C	
	<p>(成果○と課題●)</p> <p>○ 困ったときはすぐに相談できる職場環境 ○ 業者による樹木剪定等、外部依頼による環境整備の負担減少</p> <p>○ ちょこボラ、支援員による業務サポート ○ 退勤時刻等についての意識改善</p> <p>● 学校行事の精選や見直し(増やすのであれば他のものを減らすという視点を持つことも必要)</p> <p>● 活動の計画・立案の遅れによるしわ寄せ</p> <p>(改善策等☆)</p> <p>☆ 見直しを持った、教育活動・行事等の精選</p> <p>☆ 業務が一人に偏らないような業務分担</p> <p>☆ スクールサポートスタッフ等の効果的な活用の工夫</p> <p>☆ 確実に報連相が行えるような連絡体制の見直し</p> <p>☆ 保護者・地域への効果的な情報発信の検討(マチコミメール、ホームページ、紙文書等の効果的な運用)</p>					

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	B	B
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	C	
			・保護者アンケート	C	
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・地域アンケート	A	B
			・教師アンケート	B	
			・保護者アンケート	C	
	③ 来校・相談体制	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・地域アンケート	A	B
			・教師アンケート	B	
			・保護者アンケート	C	
<p>(成果○と課題●)</p> <p>○ 総合的な学習の時間や生活科等での、地域の方々の協力 ○ 地域住民の協力と理解(外トイレの使い方の改善。等)</p> <p>○ 防災さんぽや防災フェスティバル等、地域の方々と連携した取組の実践</p> <p>○ 学校だよりや地域だより、ホームページ等による情報発信の充実</p> <p>● ちょこボラや奉仕作業をしていただく地域の方々への児童の感謝の気持ちや関心の低さ</p> <p>● 各種活動により多くの方に御協力いただけるような取組や啓発の仕方</p> <p>(改善策等☆)</p> <p>☆ 放送等での、ちょこボラの主旨や実施日等についての紹介</p> <p>☆ 公民館活動等と学校との連携強化</p> <p>☆ 早め早めの計画・立案と、啓発の活性化</p>					

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
健康・学校安全	① 基本的な生活習慣	「早寝・早起き・朝ごはん」など、健康的な生活習慣が身に付くよう指導・支援した。	・教師アンケート	C	C
	② 危機管理意識の向上	安全点検や登下校指導等をとおして、危機管理意識の向上を図ったり、児童の安全確保に努めたりした。	・教師アンケート	B	B
	③ 学校防災	学校や児童生徒の実情に合った条件下で、「実効性」を高める避難訓練を行った。	・教師アンケート	A	B
		地域の実情、児童生徒の実態に合わせて、防災マニュアルを整備・改良し、関係者で共有を図った。	・教師アンケート	B	
	<p>(成果○と課題●)</p> <p>○ 新しい方法による避難訓練の実施 ○ 防災さんぽやマップ作りによる児童や教職員の意識の変容</p> <p>○ 家庭学習がんだりカードの実践 ○ 生活習慣調査による、健康課題や傾向の把握</p> <p>○ 健康診断の受診率が高さ</p> <p>● 避難訓練や防災学習等のより効果的な実践に向けた計画・立案</p> <p>● 児童や保護者の健康・安全に対する意識の高揚を図るための更なる啓発の工夫</p> <p>● 家庭での生活習慣の改善(遅寝、ネット・ゲーム依存傾向の低年齢化。等)</p> <p>● 校内の危険個所の確認や整備(木の根っこ、たちばな通りの小石等) ● 食物アレルギー対応の徹底</p> <p>(改善策等☆)</p> <p>☆ 家庭学習がんだりカード等を使った、家庭への啓発の継続</p> <p>☆ SNS教育、こころまじわるプロジェクトの視点に沿った性に関する指導の充実</p> <p>☆ たちばな通りの整備(木の根っこ除去。たちばな通りの利用のきまり作成。等)</p> <p>☆ 食物アレルギー事故防止のための対応の徹底・強化</p> <p>☆ 健康・安全に関する取組等の情報発信の機会増加(学校だよりや学級通信、ホームページ等)</p>				

御意見等	検討事項・対応策等
<p>① 立間小学校の歴史を閉じる年が参ります。卒業生の一人として大変寂しく感じますが、これも時の流れ。子供たちの教育に力を注いでいただいた先生方に感謝しています。立間小学校、永遠なれ！</p> <p>② 個人が特定されるため意見を出せませんが学童が無い、少人数での下校で大変つらいです。</p> <p>③ お互いの意見を聞いて解決するような指導をお願いします。</p> <p>④ 授業でできない問題があった際に、みせしめのような指導があったようです。子供はできないことが悪いと思ひ込み、質問すらできなくなっています。分かっている子供のペースではなく、分からない子供に丁寧に向き合い指導してほしいです。</p> <p>⑤ 子供たちはやれば何でもできます。もう少しいろいろなことに挑戦させてほしいです。</p> <p>⑥ スカートですが、長さや体型が合っていないと胃のあたりがウエストになり苦しくなったりムカムカしたりすることもあるそうです。校則のようなことは中学生、高校生からでは十分です。小学生のうちはそのままで気にせず楽しく動きやすい長さでよいのではないかと思います。今までもそこまでの指導はありませんでした。</p> <p>⑦ 放課後練習は今まで通り実施してください。内容も例年通りしっかりした指導をお願いします。あれだけの陸上練習して本番でのバトンが全然できてなくてビックリしました。</p> <p>⑧ 児童の中で疎外されている子がいるようです。疎外される理由となることもあるとは思いますが、実例をテーマに道徳的な話し合いを行い、解決するような活動をしてはどうでしょうか。</p> <p>⑨ Webのみでの連絡事項、アンケート等は見にくいし、忘れるので、従来の用紙もお願いします。</p>	<p>① 令和6年度末の閉校に向け、閉校行事等実行委員会やPTAとも連携しながら、よりよい教育活動を実践していきます。</p> <p>② 学童の運営主体は、地域の協力者や民間団体になります。小学校が運営主体となるものではありません。設置基準もありますので、詳しくは生涯学習課にお問い合わせください。</p> <p>③④⑤ 児童に真摯に向き合い、しっかりと教育活動が行えるよう、教職員一人一人が授業改善等を進めていきたいと思ひます。</p> <p>⑥ 本校には、服装規定など細かなきまりはないので、服装等は御家庭の御判断にお任せします。</p> <p>⑦ 児童にとってよりよい課外活動となるよう、指導の改善に努めていきます。課外活動の在り方については児童の実態等を考えながら取組の計画を立てていきたいと思ひます。</p> <p>⑧ 児童一人一人が楽しく、安心して学校生活を送れるよう、考えをしっかりと話し合えるような道徳・学級活動等の実践に努めていきます。</p> <p>⑨ webのよさも、紙媒体のよさもあるので、保護者等の意向を確認しながら、内容に応じて選択しながら連絡を行っていきます。</p>

記述による御意見